

令和6年度SSHにおける東海大学留学生との2年次理系生徒のサイエンスな交流

令和6年12月4日（水）に、東海大学留学生と本校2年次理系生徒との「サイエンスな交流」を東海大学にて実施しました。2年生9名、2グループが参加を希望し、英語で現在までの課題研究の成果発表を行いました。発表後、留学生からコメントや質問が多くありましたが、各グループともに難しい質問に対しても聞き返しながら自分たちだけの力で回答する姿が見られました。研究についての専門的なアドバイスに加え、留学生自身の研究についての発表もあったため、新たな気づきや多角的・複合的な視点から課題を発見するきっかけとなりました。

また、施設紹介では、土質実験室で実験装置を数多く紹介していただき、さらに液状化現象についての模擬実験も体験することができました。他にも最先端の技術を持つ企業と連携した「見る」分野に特化した施設では様々な光学機器を見学することができたため、専門性の高い科学的技術に触れられる貴重な機会となりました。

3月に再び東海大学留学生に対してブラッシュアップした課題研究の成果の発表を再び行います。今回の取り組みをモチベーションに、次回も自信を持って発表してもらえればと思います。

